

研究課題名	胸部 X 線写真から骨密度を推測する AI アルゴリズムの外部検証
研究の意義・目的	<p>この研究の目的は、骨粗鬆症の検査のために開発を行った、胸部 X 線写真から骨密度を推測する AI アルゴリズムの精度検証を行うことを目的としています。</p> <p>骨粗鬆症は本邦では 1600 万人の患者さんが存在する一方で、適切に治療介入が行えているのはそのうちのごく少数です。骨粗鬆症を適切に治療介入できない場合、転倒などの軽微な外傷で、背骨の骨折や大腿骨の骨折をきたしてしまい、入院や手術が必要となってしまいます。骨粗鬆症の早期発見と早期治療が重要であり、今回検証する AI アルゴリズムは、多くの医療機関で撮影可能なレントゲン写真を用いて骨粗鬆症を評価するといったものです。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	<p>下記を満たす方が対象者となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年 1 月～2023 年 12 月に MedCity21 へ受診された方及び、ビッグデータ研究推進のための病院間画像情報連携システム及びデータベース構築 (https://med-ai.jp/info) で収集されたデータ。 ・ 40 歳以上の方 ・ 入院中の検査または外来検査にて、骨密度測定検査を行った方 ・ 骨密度検査実施日の前後 4 ヶ月以内に、同施設で、胸部 X 線写真を撮影した方
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：年齢、性別、胸部 X 線写真を撮影した際の診断名、既往歴、検査データ（胸部 X 線写真、骨密度測定検査）</p>
試料・情報の 提供を行う機関の名称 及びその長の氏名 (提供元について)	<p>機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学</p> <p>機関の長の氏名：理事長 福島伸一</p>
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報（過去に取得した試料、情報を利用します）
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	<p>研究代表者：公立大学法人大阪 大阪公立大学 健康科学イノベーションセンター 特任准教授 植田大樹</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。</p> <p>【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学 健康科学イノベーションセンター 特任准教授植田大樹</p> <p>【共同研究機関・研究責任者】 MedCity21 所長 渡邊俊雄 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 講師 田北昂大 iSurgery 株式会社 代表取締役 佐藤洋一</p>

本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 今回の研究は iSurgery 株式会社からの研究費を受け実施します。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	公立大学法人大阪 大阪公立大学 放射線診断学・IVR 学 担当者氏名：田北昂大 電話番号：06-6645-3831 メールアドレス：ai.labo.ocu@omu.ac.jp